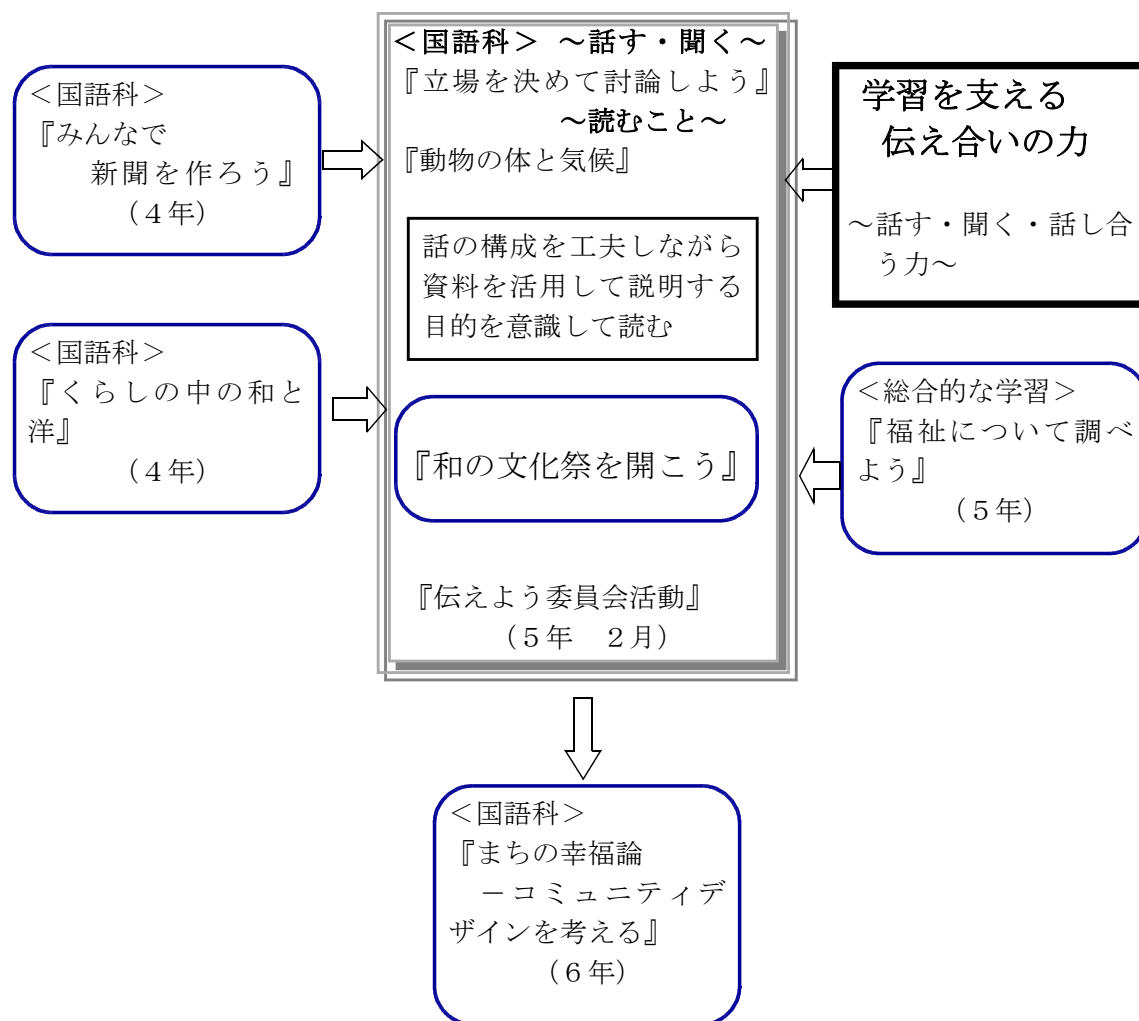


第5学年国語科学習指導案

- 1 単元名 「和の文化祭を開こう」
(教材 : 和の文化を受けつぐ -和菓子やさぐる)
- 2 単元のねらい
 - 「和の文化祭」に向けて和の文化について調べて説明するという目的を意識して文章を読み、進んで調べてみたい課題を探したり、資料の提示の仕方を工夫して話したりしようとする。(関心・意欲・態度)
 - 伝えたい内容や目的に合わせ、話の構成を工夫しながら、資料を活用して説明することができる。(話すこと・聞くこと)
 - いろいろな資料を、目的を意識して読むことができる。(読むこと)
- 3 身につけたい情報活用能力
 - 調べた情報を伝えたい内容や目的に合わせて取捨選択し、話の構成を工夫しながら発表する。(調べたことを表現する・伝える力)
 - 目的に合わせて必要な情報を読みとり、説明に生かすことができる。(読む力)
- 4 単元設定の意図 ～略～
- 5 単元構想



6 単元の評価規準について

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話すこと・聞くこと	ウ 読むこと
調べて説明するという目的を意識して文章を読み、進んで調べてみたい課題を探したり、資料の提示の仕方を工夫して話したりしようとしている。	伝えたい内容や目的に合わせて、話の構成を工夫しながら、資料を活用して説明する。	いろいろな資料を、目的を意識して読む。

7 単元の指導計画及び評価計画 【全14時間】

	学習活動	○教師の手立て ●学校図書館とのかかわり	評価規準と評価方法
第一 次 ・ 1 時 間	○教材文を通読し、和の文化について調べ発表するという学習課題について確認し、学習の見通しをもつ。 (1時間)	○単元を貫く言語活動について学習課題を示し、目的意識をもたせる。 ●「和の文化」に関わる資料の準備。 ●ブックトーク、マッピング	・「和の文化」について調べて説明するという目的を意識して学習の見通しをもつことができる。 【発言・態度】
第二 次 ・ 3 時 間	○序論・本論・結論の構成をとらえ、筆者の伝えたいことを読みとる。 (1時間)	○既習の力を活用し、文章全体から大きな構成をとらえさせる。	・目的を意識して、書かれている内容を読み取ることができる。 【ワークシート・態度】
	○本論から三つの観点をとらえ、それぞれの説明の仕方を読みとる。 (1時間)	○「和の文化祭」での説明に活かすという目的をもたせながら、三つの観点を説明の仕方をとらえさせる。	・書かれている内容を観点別に読み取ることができる。 【構成表・発言】
	○資料の効果を考える。 (1時間)	○文だけでは説明仕切れない写真や年表などの効果についてとらえ、「和の文化祭」に活用する観点を押さえる。	・資料の提示方法やその効果を考えることができる。 【構成表・発言】
第三 次 ・ 10 時 間	○グループで発表する文化を決めて、計画を立てる。 (1時間)	○並行読書を本時までに行い、和の文化に関わる様々な本や文章を読ませておき、計画を立てる。 ・観点 ・調べること ・調べる方法 ●いろいろな情報収集の方法の指導	・取り上げる題材と観点を決め、いろいろな資料で調べることができる。 【ワークシート】
	○計画に沿って調べ、情報を集め、集めた情報を観点	○調べたことは、観点別に情報カードに記入していき、整	・情報を集め、集めた情報を観点別に整理す

別に整理する。 (2時間)	理する。	る。 【ワークシート・情報カード】
○情報を選び、説明の順序を考えて構成し、資料を内容に合わせて形式を工夫する。 (1時間)	○「流れ」→「説明の内容」→「時間」の順に構成表にまとめていく。 ○資料の効果的な使い方を「説明しながら」、「配布して」などの観点で考えさせる。 ●資料の活用の仕方の指導 ●著作権の指導	・情報を選び、説明の順序を考えて構成することができる。 ・資料を選択し、内容に合わせて形式を工夫することができる。 【発表構成図・態度】
○モデル文をもとに、説明するときのポイントをとらえる。 (1時間)	○教科書の原稿から、わかりやすく説明する言葉、提示方法のポイントをとらえさせる。 <言葉> <提示方法> ・説明の仕方 ・実物(写真) ・問いかけ ・図・表 ・語りかけ ・配付資料	・説明するときの言葉や提示方法のポイントをとらえることができる。 【発表構成図・態度】
○発表原稿を作成する。 (1時間)	○これまでの学習を振り返りながら、発表原稿を作成させる。	・聞き手を意識して、発表原稿を作成することができる。 【発表原稿・態度】
○グループ内で発表の練習をする。 (1時間)	○説明の3つの観点をや資料の提示を視点にして、相互評価しながら改善させる。	・グループで助言、話し合いながら発表の練習を行うことができる。 【発言・態度】
○「和の文化祭」のリハーサルを行い、意見を交流する。 (1時間 本時)	○学級で発表を聞き合い、改善することなどを助言したり、感想を伝えたりして発表を振り返らせる。 ●資料の使い方、提示の評価	・伝えたいことを意識して、資料を活用して説明することができる。 【発表】 ・目的や観点を意識して、発表を聞くことができる。 【ワークシート・発言】
○リハーサルでのアドバイスを思い出し、原稿を再構成していく。 (1時間)	○アドバイスや教材文の学習をもとに原稿を作り直していかせる。	・アドバイスなどをもとに、原稿を再構成していくことができる。 【発表原稿・態度】
○「和の文化祭」を開く。	○自分たちの活動を振り返り、お互いの良さを認め合っていくようにする。 ○「和の文化」を大切に、受け継ごうという態度につながるよう助言する。	・相手を意識して、自分たちが考えた発表を行うことができる。 【発表・ワークシート】

8 本時の学習

(1) 目標

○伝えたいことを意識して調べたことが伝わるように資料を活用して説明したり、自分が調べたことと比べながら意見を述べたりすることができる。

(2) 本時で育てたい力

- ・伝えたいことを意識して、資料を活用して説明する力。(伝える力)
- ・発表を聞き、自分たちが調べた「和の文化」と比べて考えたことなどについて、感想や意見を述べる力。(伝え合う力)

(3) 展開

	学習内容と予想される児童の意識や活動	○担任の支援 ●司書教諭の支援 ☆評価
	<p>1 本時の学習の課題と流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>調べたことを発表し、気づいたことを伝え合おう。</p> </div> <p><話す側></p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ ・話す速さ ・目線や体の向き ・間の取り方 ・資料の提示 (タイミング、方法) <p><聞く側></p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい構成か ・内容にあった資料の形式か ・資料の提示はどうか(興味をもてたか) ・反応を見て説明したか <p>2 グループで調べたことを発表し、感想や意見を伝え合う。</p> <p>3 本時の学習の振り返りをする。 自己評価 相互評価</p> <p>4 次時の学習の見通しを持つ。</p>	<p>○担任の支援 ●司書教諭の支援 ☆評価</p> <p>○本時の課題を提示し、流れを確認する。</p> <p>○話す側の観点を子どもに出させながら提示していく。</p> <p>○聞く側の観点については、ワークシートを準備し、それぞれの観点到沿って各グループの発表内容がそれぞれどうだったか評価し合うことができるようにする。</p> <p>○改善点だけでなく、自分達の発表にも生かすことができるようなことも評価することで、効果的な発表の良さを広げる。</p> <p>☆自分たちが調べたことと比べながら、効果的な発表に気づいている。</p> <p>【ワークシート】</p> <p>●資料の使い方、提示の仕方の評価</p> <p>○ワークシートに「自己」「相互」についての振り返りを行うようにする。</p> <p>○児童の評価を認め、気づかない点について助言をする。</p> <p>○発表会に向けて、各グループの改善点</p>

を確認し、次時への意欲をもたせる。

(4) 本時の評価の具体例

評価基準	十分満足と判断される児童の姿の具体例	おおむね満足できると判断できると判断される児童の姿の具体例	おおむね満足できると判断されない児童への手立て
話すこと・聞くこと	発表を聞き、自分たちが調べた「和の文化」と比べて考えたことなどについて、効果的な発表についての感想や意見を述べている。	発表を聞き、自分たちが調べた「和の文化」と比べて考えたことなどについて、感想や意見を述べている。	発表を聞き、観点ごとに良さや改善点を見つけることができない児童には、友達の発言やこれまでの学習を思い出させるような声がけをし、個別支援を行う。

(5) 研究の視点

- 観点別に発表を聞き、意見や感想を伝え合ったことは、よりよい発表に向けて有効であったか。